

よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

月刊

同友

DOYU 2011 September 9 Vol.542
MONTHLY COMMUNICATION MAGAZINE



古い大工道具

特集

第23回 福岡県中小企業経営者フォーラム フォーラム実行委員座談会

21世紀型 自立型企业づくり

新米社長が『経営指針書』に出会った!

有限会社 五十番食品 代表取締役 おう 王

あい 愛氏
福友支部



同友会
3つの目的

よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強靱な経営体質をつくることをめざします。

よい経営者になろう

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

今月の表紙

有限会社 高井工房社は、昭和16年の創業で、社寺の建築も手がけておられ、在来工法の良い所を生かしながら、「家相」や「自然との融和」を考え、「三代続く家造り」を大切におられます。

大工の橋本さんに、今では使わなくなった道具も含めて、大工道具を見せて頂きました。

最初に持ってこられた斧を見て、マサカリかと思いましたが、刃先が狭いものヨキ(与岐)というそうです。(左端)その隣が、チョウナ、木を荒削りする道具で、使わなくなって30年ほどになるそうです。真ん中あたりが、ノミ(鑿)いろいろ種類があります。そして、右の3つがカンナ(鉋)。橋本さんは大工の技を磨く「削ろう会」に参加していらっしゃいます。



「私の逸品」
古い大工道具

有限会社 高井工房社
代表取締役 村上 基幸氏
(中央支部)



撮影：船木 治

「あなたの写真で表紙を飾りませんか！」

表紙の写真をご募集いたします。テーマは「私の逸品」です。詳細は、福岡県中小企業家同友会 広報情報室「月刊同友」編集部まで

締め切り…平成23年10月号は平成23年9月1日必着

投稿方法…電子メール、郵送いずれも可

表題に「みんなの広場」とご記載ください。

郵送先…福岡県中小企業家同友会 広報情報室「月刊同友」編集部

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号

もしくは n_ooba@fukuoka.doyu.jp まで

※応募が多数の場合は編集委員会で選考いたします。なお、投稿いただいた作品は返却いたしませんので、ご了承ください。

c o n t e n t s

特集

第23回 福岡県中小企業経営者フォーラム
フォーラム実行委員座談会 …………… 3

21世紀型 自立型企業づくり …………… 6

新米社長が「経営指針書」に出会った
～笑顔づくり企業を目指して～
有限会社 五十番食品

第77回 景況調査 …………… 9

物づくり・人づくり・地域づくり ⑫ …………… 10

大手が断る小ロットなシール印刷と50年以上
蓄積した樹脂版・亜鉛版の製版ノウハウ
有限会社 田中凸版

ようこそ同友会へ …………… 11

9月行事ご案内 …………… 12

新商品ご紹介 …………… 14

第4回理事会報告 …………… 15

Information

専門職による「くらし・事業なんでも相談会」

先着順・予約不要(当日受付)(相談時間は1件30分まで)

土地家屋調査士・不動産鑑定士・行政書士・
社会保険労務士・弁護士・公認会計士・税理士・
司法書士が「無料」で相談に応じます。お気軽
にお越しください。

- 開催日時 2011年9月4日(日) 10時~16時(受付終了 15時30分)
2011年12月3日(土) 10時~16時(受付終了 15時30分)

- 開催場所 福岡市健康づくりセンター あいれふ10階講堂
福岡市中央区舞鶴2-5-1

■主催 福岡専門職団体連絡協議会(事務局 福岡県土地家屋調査士会)

■お問い合わせ先 ☎092-741-5780(事務局)

開催日専用番号 ☎090-9483-5407

被災地同友会は、頑張っています!!

Vol.6

広がる「岩手の物産を買おう」支援の輪

8月2日~4日の3日間、東京新宿郵便局で、陸前高田・大船渡物産展が開かれました。震災後企業再生に向けスタートしている各社が、自社で出せる最大限の商品を持参し、直接東京のお客様に販売しました。

復興セットと銘打った、各社商品の詰め合わせも、注文が相次ぎました。

販売ブースに立った社員は、「全く見ず知らずの方々が、応援しているよ、と両手一杯の高田・大船渡の商品を買ってください。言葉では言い表せない感謝の思いでいっぱいです」と、お客様の後ろ姿を見ながら話していました。

沿岸では本格稼働までまだまだ遠い道のりですが、少しずつ動き出した企業も出て来ています

フォーラム実行委員座談会

今年も経営者フォーラムが11月7日(月)、ヒルトン福岡シーホークにて開催されます。未曾有の大不況、そして東日本を襲った大震災。今こそ中小企業は経営者と社員が一丸となり、状況を正確に的確に捉え、勝ち残る戦略を新たに創ることが最重要課題です。

フォーラム委員に集まっていただき今年のフォーラムについて語っていただきました。

参加者

- 実行委員長 林田 達氏
 - 分科会部会部会長 向井 徹氏
 - 統括副委員長 宗 隆文氏
 - 副委員長 竹内 大平氏
 - 副委員長 富安 慶輔氏
 - 副委員長 竹下 政敏氏
 - 副委員長 平田 誉成氏
 - 事務局 谷村 孝子氏
- 旭 晋平氏



▼今年のテーマ

厳しい時代を乗り切る最強戦略

全社一丸の企業づくり

～経営者と社員の誇りと課題～

●今年のコンセプトを

お聞かせください

林田▼今年の福岡同友会の基本運動方針は「全社一丸の企業づくり」です。フォーラムはこの混沌とする状況下の今こそ、中小企業「労使」が一丸となり新たな活力を生み出す経営力と自社の強みをより強くすることを学ぶ絶好の機会です。特に今年は初めて社員さんにも参加できる分科会とゲスト分科会を特別に作ったのが大きな特徴です。基調講演は1300名入れる大きな会場を確保しています。ゲスト・社員さん大いに動員して欲しいですね。増強本部フォローアップ委員会からも応援いただく確約を取り付けています。私の仕

事はここまでです。

カンバスに絵を描いただけです。あとは実際に形にして、内容を深めていってくれるのはここにいる副委員長さんや委員さんたちです。



実行委員長 林田 達氏

●財政面でもご尽力

いただいていると

聞きました

宗▼本会計から予算を大幅に増やし、また交流会の会員さん負担を減らしました。これで参加しやすいフォーラムになったと思います。会員数が減っている中、ぜひ多くの方に参加してもらい

たいと思っています。

来賓につきましても、福岡県・福岡市は新しい長が生まれました。

ぜひお招きして中小企業が頑張っているという姿を見ていただき経済の活性化の政策に力を注いでいただきたいと考えています。そういう意味では対外広報の意味もあります。



統括副委員長 宗 隆文氏

●今年の基調講演は

林田▼ここは私がお話しておきましょう。岡山同友会代表理事の土井章弘さんにお願いしました。

病院を経営されています。同友会が掲げる「人間尊重の経営」に共感して経営指針書を作成して「地域密着オンラインワン病院」を目指しています。経営者のあるべき姿・

社員のあるべき姿が学べること、間違いありません。社員さんもお誘いください。打ち合わせしていても、とにかくユーモアのセンスにあふれていて、楽しい基調講演になるでしょう。

●分科会について
教えてください

向井▼例年の『テーマ分科会』に加えて、今年は『特別分科会』としてゲスト対象の分科会を設けたのが特徴です。全社一丸の企業づくりというテーマで地場で頑張っている方にお願いました。

第9分科会では「もしドラ・同友会版」です。社長成り立ての王さんがあすなる塾経営指針書作成セミナーで感動したこと、会社がどう変わっていったかお話しします。

第10分科会では九州経済産業局局長の滝本さんに産官学金連係について報告いただき

ます。

また、このたびの大震災について考えたいという主旨で打診したところ、いち早く岩手県陸前高田市でドライビングスクールを経営する田村さんから承諾いただきました。復興に向けて同友会の底力を第6分科会で報告いただきます。



分科会部会長
向井 徹氏

竹下▼第5分科会では女性企業家大賞最優秀賞を受賞した権藤さんが報告します。自らの苦労した体験を基に、お客様視線で作った安全・安心の24時間保育園の報告をいただきます。

第7分科会の山田さんは、大阪同友会副代表をされており、フォーラム委員7名で大阪まで押しかけて打ち合わせ

してきました。誰でもできる3Sを誰でもできないレベルまであげていった話など経営のヒントが盛りだくさんです。

この分科会は幹部社員さんにも参加いただけます。ともに学ぶ場になります。



副委員長
竹下 政敏氏

富安▼第3分科会は新しくできたばかりのりょうちく支部の小野さんです。優れた技術を武器に決して下請けになることなく、マーケティング戦略で久留米のみならず全国そして海外にエリアを広げています。

第4分科会は同友会の柱である経営指針について『あすなる塾』担当の森さんに報告していただきます。環境の変化に対応するため

いかに指針書が大切かを学ぶことができます。



副委員長
富安 慶輔氏

平田▼私は参加促進も担当しており、第8分科会はゲスト分科会と位置づけしています。

代表理事の田浦さんに同友会の関わりや学びを通して、顧客満足から社員満足にシフトしていく取り組みなどを報告していただきます。

また、女性の中原さんには波乱万丈の人生の中で自ら「天職」と感じたグループホームの経営について熱く語っていただきます。



副委員長
平田 誉成氏

フォーラム版「同友会を知る会」です。ぜひゲストをお誘いください。

向井▼第1分科会では駒沢大学教授で中協企業環境研究センター座長の吉田先生に激動の時代に中小企業経営はどうあるべきか、また果たす役割について提起していただきます。中小企業憲章の具体的学習となります。

第2分科会では田川の果樹園でレストランを営む杉本さんが報告します。失敗の連続で始まったレストランは今や地域おこしの中核として活躍しています。常識にとらわれない発想を学べます。

●交流会はどのようになつていきますか。

竹内▼フォーラムといえは交流会です(笑)。今年も素晴らしいアトラクションを企

画しています。今は内緒です(笑)。ぜひご期待ください。

交流会では、グループ討議の延長戦も兼ねる意味合いで分科会ごとにテーブルを囲みます。

支部の垣根を越えた会員さん同士の交流を深めて欲しいと思います。



副委員長
竹内 大平氏

●事務局から

お伝えしたいことは

林田▼フォーラムは事務局の協力がなかったらできません。ほんとに感謝しています。

谷村▼事務局は情報を提供しているだけです。あとはフォーラム委員さんの熱意です。フォーラムは同友会の集大成として県の方針の中でも重要な柱です。

全国行事に行ったのと同じ

くらいの学びをしていたきたいと思っています。

悲しい大震災で壊滅状態になった岩手からも報告者が来ていただき、こちらが元気をいただきます。

このフォーラムで会員さん企業に新しい風を送り込めたら・・・と思います。

●最後に実行委員長から

林田▼今回は多忙な正副代表理事や地区会の要職にある方全員が座長や報告者を引き受けていただきました。各地区会からも分科会報告者を選出していただき全県をあげて学びの集大成であるフォーラムの充実を図っています。

会員みなさんもお客さんとして参加するのではなく、対外的にも福岡同友会が注目される経営者フォーラムを一緒につくりあげ、よりよい学びを深めるために参加していただきたいと

考えています。

また、この「月刊同友」とも協力し、福岡同友会の報告者は全員「自立型企業」で取り上げられています。ぜひとも「予習」して参加してください。



大阪同友会の山田製作所(第7分科会報告者)に打ち合わせ

ご協力ありがとうございます。

取材

月刊同友編集部 菅原 弘

	講師・発表者	テーマ	詳細は「月刊同友」で
基調講演	土井 章弘氏	経営者と社員のギャップを埋めるのが経営指針書	
第1分科会	吉田 敬一氏	この未曾有の危機を我々はどう乗り越えるのか!	
第2分科会	杉本 利雄氏	こんなところにレストランがある	2011年8月号
第3分科会	小野賢太郎氏	久留米から見据えた地域、全国、海外・・・マーケティング戦略とその発想法	
第4分科会	森 茂博氏	同友会の学びを活かして企業風土革新を目指す	2009年8月号
第5分科会	権藤 光枝氏	社員一人ひとりが生き生きと働くために	2011年7月号
第6分科会	田村 満氏	大災害からの復興は、地域の企業の絆でこそ実現する	2011年11月号予定
第7分科会	山田 茂氏	社員と一丸の意識改革でV字回復! 経営者の経営姿勢を今一度考えよう	
第8分科会	田浦 通氏	全社一丸の企業づくり	2003年9月号
	中原亜希子氏		2011年5月号
第9分科会	王 愛氏	経営指針はじめて物語	2011年9月号
第10分科会	滝本 徹氏	九州成長戦略アクションプランと中小企業の経営力強化	

※詳しくはフォーラム紹介パンフレットを参照してください

※お申し込み・お問い合わせは福岡県中小企業家同友会 ☎ 092-686-1234 まで。

新米社長が

『経営指針書』に出会った！

笑顔づくり企業を目指して

両親がつくった会社の危機に勢い社長に就任。
しかし、社長業に戸惑う日々。同友会に入会し彼女がたどり着いた方向性とは……

有限会社 五十番食品は 料理店の黒子

「創業は昭和47年です」と話し始めたのは、有限会社五十番食品の代表取締役王愛さんです。両親が福岡市博多区雑餉隈で中華食堂『五十番』を開いたのが始ま

りです。コックさんを雇い3名で営んでいましたが、昭和49年にはそのコックさんに店を譲り、春日市に有限会社五十番食品を設立しました。餃子の具や皮を作り近くの料理店に卸していました。やがて取引先が増え、また父親が台湾で本格的に肉まんや春巻

有限会社 五十番食品

代表取締役

おう
王

あい
愛氏

福友支部

〈今年度のフォーラムの分科会報告者です〉

■取材 広報情報室
文章/菅原 弘
写真提供/五十番食品

▼ corporate data

有限会社 五十番食品
創 業/1974年12月
資 本 金/300万円
住 所/筑紫野市永岡1312
TEL 092-928-0050
従業員数/社員:15名 パート:35名
年 商/4億円
<http://www.50ban.co.jp>



きを修得し商品ラインナップも増えていきました。実績は順調に推移し作業スペースが手狭になったことで、平成2年、現在の筑紫野市に移転してきました。商品は卸問屋さんを通して九州中心に料理店に納めています。ちなみに、社名は父親が王貞治さんの大ファンで実家の屋号『五十番食堂』に由来し、シンボルマークのパンダは初来日以来使用しているそうです。

「私たちの強みは、料理店ごとのご要望を聞いてできるだけ対応することです」と王先生。中華料理にはたくさんメニューがあります。点心を全部手づくりするのはたいへん手間が掛かります。そこに目をつけ、その店独自の味をアウトソーシングで請け負っています。いわば料理店の黒子です。「それだけにお

店との信頼関係が大切です」と王先生は語ります。肉や野菜の量や切り方、醤油の銘柄指定、餃子の皮の配合・厚さまで要望は様々です。現在では200アイテムにも及び、作業ラインを有効に利用しながら手づくりを基調としています。

事業継承

「実は、なりたくてなった社長ではなかったんです。それまでは普通のOLでした」と王先生は言います。父親が平成2年に急逝します。株は日本人の母親名義なので、母親がオーナーではありますが、親の経営には苦労していましたが、社内は一時混乱し、売上は一気に落ち込みました。「両親が作った会社が大きなことになっているのに、

私はノホホンとしていいのか」。王先生は一大決心し後継者として平成15年に入社、紆余曲折の末、平成18年に社長に就任するのでした。

同友会との出会い

売上回復のために取り組んだのは、「お客様の要望は断らずに、できるだけ応える」ということでした。それが現在の生産スタイルの出発点です。「その頃は日々の業務に追われていました。『やらねばならない』ことばかりだったように思います」。両親のつくった会社のピンチに勢い社長にはなったものの、社長として何をしていいのかわかりませんでした。『社長』と名のつくセミナーに出たり、本を買いあさったりして模索していた頃、あるセミナーで同友会を勧められ入会しました。

平成20年のことです。『同友会を知る会』に参加した際、自分の悩みに対して初めて会った会員さんが親身に相談にのってくれたことに深く感動しました。さらに『あすなる塾』（経営指針書作成入門）に参加します。「自分にとって大きなターニングポイントでした」と王先生は振り返ります。「自分は社長として会社をどういう方向へ持って行こうとしたのか、理念・ビジョンが全くなかったことに気づきました」。さらに2泊3日の『経営指針作成セミナー』に参加しました。講師の熱心な指導のもと、自分と向き合い社長として社員とともに夢の実現をしなければならぬと考えるのでした。

経営指針書作成

そこで、王先生が掲げた理念は『笑顔づくり企業』でした。

た。食品会社としてたくさん人の笑顔の素を作る会社を目指すというものです。平成22年度、初めての経営指針書を作成し、学びの通り社内『経営発表会』を開催しました。「私だけが盛り上がりすぎていました、社員はポカーンとしていました」と王先生は笑いながら話してくれました。指針書を作成した意義はあり、「こういう会社になりたいんだ」という言葉が日常会話からも出るようになったと言います。「そして自分の言う言葉がブレないようにしてきました」。社員にも、朝礼での唱和やミーティングを通して徐々に浸透しつつあります。「微妙な判断にも役に立っています」と、こんな例を挙げてくれました。あるお店から依頼の餃子にはニラが入っていないはずなのに、皮を透けてニラが見えることがありました。おそらくミキサーの



手づくりを基調としています



餃子を中心に200ものアイテムを製造しています



掃除が甘かったと思われま
す。以前ならば、たまたまそ
の数個だけかもしれないと迷
うところでしたが、現在では
「それでお客様は笑顔になる
だろうか」と考え、やり直し
となります。「当たり前のこ
とですが、そういうことがで
きるようになりました」。

今後は社員と理念・ビジョ
ンを共有し、さらに浸透させ
実践していくことが重要と考
えています。「一歩ずつです
が」と、経営指針プロジェクト
トチームを立ち上げました。
取材の間にも、びっしりとメ
モが書き加えられた指針書が
王さんの手元から離れること
はありませんでした。

同友会に倣って プロジェクト設置

指針書の作成で自社の強
み・弱みも浮き彫りになっ
てきました。強みは手づくりで
お客様の要望に応えることで
すが、反面、弱みはその『熟

練の技』を継承できていない
ことです。同友会の仲間、
工場長の後継者を作りたいと
相談したことがあります。そ
こでもらったアドバイスは、
そのまま工場長に言ったので

は『代わりの人の育成』と思
われて、プライドを傷つけて
しまう。『卓越した技術を次
の世代に伝えること』をお願
いするということでした。そ
こで『匠の技を学ぶプロジェ
クト』を設置し、2人の熟練
者を立てその技を大いに賞賛
するとともに、ぜひ教えてく
ださいというスタンスを取り
ました。これは功を奏し、年
間計画で実行されています。
新商品開発プロジェクト
は、依頼された料理店の要望
に近づけるよう毎日のように
取り組んでいます。

卸問屋さんを経由している
ため、実際に食べている方の
声を聞く機会が少ないので直
売所プロジェクトをつくり、
お客様の声を聞くようにしま
した。意見はフィードバック

され社員のモチベーション向
上に役立っています。
「設置したプロジェクトは
同友会のブロック活動のよう
です」と王さんは話します。

自立型企業とは

取材の最後に王さんの考え
る自立型企業についてお伺い
しました。

「理念に向かって頑張って
いる会社だと思えます。私た
ちは、『笑顔づくり企業』を
目指しています。社員そして
その家族、取引させていた
いている業者さん、料理店さ
ん、そこに来るお客様、その
お友達に笑顔の連鎖が広が
る。その笑顔が循環してい
ればいいなと思って毎日仕事
しています」。

取材協
力ありが
とうござ
いました。



苦境の中、手堅い経営、先行きに不安が漂う

調査要領

調査時 … 2011年6月10日～2011年6月24日
 対象企業 … 福岡県中小企業家同友会 全会員企業
 調査の方法 … メールおよびFAXの方法による自計記入
 回答企業数 … 398社の回答 (回答率…20.8%)
 (製造業/69社、建設業/74社、商業流通業/57社、サービス業/192社、無記入/6社)
 企業規模 … 0～10名以下/200社、11名～20名以下/92社、21名～50名以下/69社
 (従業員数) 51名～100名以下/21社、101名以上/15社、無記入/1社
 企業の所在地 … 福岡地区/271社、北九州地区/47社、筑豊地区/32社、県南地区/39社、県外/8社、無記入/1社

■景況調査結果

(1) 景況感、売上げ、利益、新規受注DI

前回76回は例年比較的好調な第I期で、かつ震災前の回答が多かったため景況感と売上高のDIは改善していたが、既に新規受注、利益は悪化していた。今回77回ではここ数年悪化が繰り返されている第II期で、かつ震災後最初の調査であることも影響しさらに大きく数値が下がっている。今回は、すべての指標で悪化し、特に景況感DIは前回比17.7ポイント悪化、2010年4-6期レベルまで戻った。

(2) 次期景況の予測

前回大きく悲観的に転じていた次期予想DIであるが、今回は15.8ポイント改善して-8.2となった。「悪くなる」の減少と「よくなる」の増加分が共に7ポイントと、入れ替わったような状態である。

(3) 業種別

建設業(設備)、商業・流通業、製造業(消費財)のDIの悪化が大きく、いずれも-50を下回っている。

(4) 企業規模別

前は31名以上の企業において特に悪化がみられ、次回予想も控えめにしていたが、今回の改善は見込以上であった。次回予想としては50名以下では下げ止まりを、51名以上ではプラス域を見込んでいる。

(5) 地域別

筑豊地区が最も厳しい状況となり、北九州地区が続いている。前回との比較では、北九州の落ち込みが最も大きい。

(6) 経営上の問題点

上位5項目については全て回答が増加した。その他、従業員不足、人件費の増加の回答が増える一方、原材料の高騰については回答が減少している。

(7) 資金繰り

資金繰りのDI値は-10.8で、前回より17.49ポイントの改善となった。「やや窮屈」が減少し、「順調」「普通」に相当が増加した。

(8) 直近の決算

2008年時点では、黒字65%、赤字28.5%、に対して2011年1～3月期は、黒字46%、赤字29%であった。これに対して今回は、黒字43%、赤字27%、トントン30%となり、わずかに3ポイントほど黒字企業が減少しているものの、各社の経営努力の結果が垣間見える。

また、前期決算との比較では、増収増益が31.7%、減収減益が38.3%、増収減益15.8%、減収増益14.2%と大きく二分している。

(9) 採用状況

2010年調査では、新規採用31%、採用なし66%に対して2011年1～3月期での予定では、採用予定16%、予定なしは84%だった。

今回の調査で実際に新卒採用した企業は、15.2%となり、ほぼ予定通りに実行された。また、採用人数は中途採用分も含めて、全体の約70%が1～2名の採用だった。

(10) 給与改定

今年度の給与改定については、定期昇給のみが27.6%、ベースアップを含めた昇給が17.6%昇給無しが54.7%となった。

■東日本大震災の3ヶ月後の影響調査結果

(1) 売上げ変化

震災の前後で売上げが、「大きく減った」「減った」と回答した

企業が約29%、「変わらない」と回答した企業が58.7%ある一方、6.5%が「増えた」と回答した。

(2) 売上げが減った原因

有効回答中、最も多いのが、「被災地の影響による調達困難」37%。「被災地の影響による取引減少」31%、「風評被害」「被災地に関係なく物資不足」23%と続いている。

(3) 売上げが増えた原因

復興需要が、26.7%と最も多く、「被災企業に変わる取引開始」「製品や部品の代替需要」「防災設備、被災地支援の需要」など多様である。

(4) 取引関係の変化

「変化なし」の回答が最も多いものの、「国内での新たな部品調達」「得意先が海外へシフト」「得意先が国内の別地域へシフト」「部品調達で海外取引開始」など回答があった。

(5) 節電について

「自社で独自に行う」と回答した企業が全体の約8割にのぼる一方、削減は困難17.5%あった。また、節電に関する自由回答には、97件の書き込み、電力問題については、さまざまな立場から、原発の再稼働の賛否、エネルギー問題の根本解決の意見も含めて、82件の書き込みがあった。

(6) 被災地支援について

88件の書き込みがあり、継続した義援金とともに、企業や同友会として出来る支援として以下のような記述が特徴的だった。

●①陸前高田市仮庁舎前に、バイオトイレの設置。岩手大学、INS、岩手同友会と福岡同友会FASTのネットワーク、株式会社エイトの無償提供で、自治体で対応不可能な事態を克服して設置にこぎつけた。②気仙中学校へ自転車59台贈るために行動中。

●福岡県同友会が、会員企業で商品・製品やサービスを被災地へ無償若しくは低廉で提供等をしたとの希望・申し出があれば、それらの申し出をまとめて、被災地の同友会にお知らせするのはいかがでしょうか。弊社からも無償提供いたします。

●被災地または周辺地域からの建機油圧部品再生依頼に対し、自社加工については基本的に無償で、購入部品や外注加工込みの案件に対しては当社仕入れ価格に上乘せせずに被災地へ提供しています。被災地と当社との間の運賃は当社持ち。

●晩夏に研修旅行を宮城の地に変更してボランティアをやる予定です。

●被災者支援無料就職相談、義援金募集の為のチャリティー就職相談震災支援の協力:就職支援、人材教育(研修)等でご協力致します。

(7) 震災復興について

83件の書き込み、政府や行政に対する要望とともに、義援金の早期配分、新たな仕事づくりの提案、復興資金の捻出のための政策などにも意見が出された。

■分析会議 議長コメント

「日本の中小企業は黒字企業は約30%しかないと言われていいます。さすがに同友会の会員企業は今調査では黒字43%、トントン30%となっています。

厳しい経営環境を克服して全会員黒字企業を目指して頑張りましょう!」

大手が断る小ロットなシール印刷と、50年以上蓄積した樹脂版・亜鉛版の製版ノウハウ

有限会社 田中凸版

代表取締役 田中 潤一郎氏 たなか じゅんいちろう かすや支部

特殊な製版技術を活かして生き残り

田中凸版は昭和31年創業。印刷会社が印刷時に使う版を造り続けて50年以上になりま。得意とする樹脂版・亜鉛版を使った特殊な製版技術は、九州ではわずか5社のみです。近年は製版ノウハウを活かし、「1枚からの小ロットシール印刷」を行っています。



オンデマンドプリンターと田中氏



1枚から注文できるシール・ステッカーの数々

製版業界は、約20年前前の印刷のコンピュータでの技術革新で縮小の二途でした。危機感を抱いた田中氏は、いち早く平成3年にコンピュータと専用機械を導入、取引先である大手印刷会社の技術革新に歩調を合わせ生き残りを図ってきました。

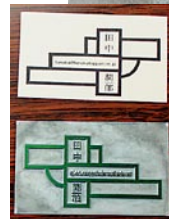
技術の継承も順調に

そのような状況で、シール印刷を専門にする印刷会社の間で「難しいシール印刷の製版は田中凸版に任せておけば確実に安心」という評価が定着していきます。シールやステッカー印刷では、一般的な紙の印刷と違い、仕上がりの美しさだけでなく、耐久性、耐光性の両立が要求されます。そのため、インクを多量に使える亜鉛版や樹脂版での製版はまだまだ必要不可欠です。製版作業には人でしかできない作業がたくさん残っています。

35年勤続する従業員さんを筆頭に、定着率が高いため「技術の継承がうまくいっていることが一因」と理由を語ってもらいました。



逃れ落見も凹凸も小さな丁寧に削り落とす



20~30年前主流だった活版の名刺

他社が嫌がる

小ロット印刷にも対応

シール・ステッカー用の製版の依頼が増えるにつれ田中氏が気づいたのは「大手のシール専門の印刷会社は、千枚以下のシール印刷は効率が悪いためやりたがらない。」ことでした。「よそがやらないなら当社でやってみよう」と、6年前に小ロット対応の印刷機を導入し、2010年秋に「1枚からのシール印刷」をうたい文句にホームページをリニューアルします。すると、「試作品のドレツ

シング用に200枚」といった小ロットのシール印刷需要が本当に多数存在し、各方面から問い合わせが来るようになりました。個人から「家庭用活版印刷キットを買ったのでその版を作って欲しい」との注文や、東京の上場企業から5万枚単位のシールの注文も舞い込むなど、ターゲットを絞ったホームページで効果をあげることになりました。

田中氏は同友会入会5年目。「経営指針から、昨年はネット販売の導入や、その顧客対応の仕組みづくりなど課題が次々と変化するので、同友会での学びには本当に感謝しています」。今後は「製版技術を様々な分野に応用したい」と熱く語っていただきました。

corporate data

有限会社 田中凸版
〒812-0041
福岡市博多区吉塚4丁目6-50
TEL 092-6222-0664
FAX 092-6222-0624
<http://www.tanakaoppn.co.jp/>

写真提供：有限会社 田中凸版(一部)
取材・撮影：広報情報室 中山裕雄



株式会社 エヌアンドビー通商

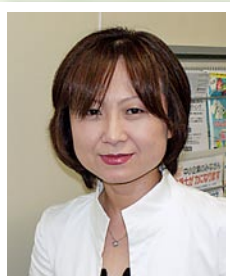
お客様の喜びを創造する 100
円ショップ・靴鞆のトータルリ
ベアショップの事業を展開

筑紫郡那珂川町今光 1-2
TEL092-954-1062

後継者(部長) あべ しゅうさく 安部 周作 **南支部**

弊社社長がもともと同友会に入会していたことがあり、そのつながりでシティーラインの田浦社長からお誘いを受けました。

他業種交流を通じて、会社での悩みや問題を少しでも改善していきたいです。また、たくさんの経営者の方から、いろいろなお話を聞き自分自身も勉強して成長し、会社に貢献したいです。



オフィスブルームィングスマイルズ

人材教育 (育成事業部)
MC 事業部 (各種司会、選挙
うぐいす etc)

直方市植木 171-102
TEL 090-9652-2997

代表者 うえむら えみ 植村 恵美 **筑豊支部**

“働く喜び” “生きる姿勢”を感じたい
あなたのそのオモイ、その人生を応援します。

毎日が選択の連続…そんな現実の中、自己決定をし、自分で責任を負うことの重みやすがすがしさを感じている今を歩んでいます。この度の同友会入会に際しても、そんな日々の中、頂いたご縁でした。

人との出会いによって自分が鍛えられ、成長させて頂けることの喜び、“何の為にこの仕事を選んだのか”という原点を大切にしながら、感謝の気持ちを胸に活動していきたいと誓っています。先輩方、未永くお導き下さいますよう、どうぞよろしくお願い致します。



レントスマネジメント株式会社

企業再生コンサルティング会社の
レントスマネジメントです。

福岡市中央区赤坂 1-5-22
赤坂えがしらビル 8F
TEL 092-734-5800

代表取締役 うちだ ともかず 内田 友壱 **福友支部**

レントスマネジメント(株) 代表取締役の内田友壱と申します。

成熟・衰退産業にある企業をコンサルティングする際、クライアントの企業価値向上が以前に増して難しくなっています。また、再生コンサル業界も、高度な専門性、サービスの総合化が求められてきています。弊社クライアントおよび弊社と協業できる企業様と出会う機会を求め同友会に入会致しました。

宜しくお願いします。



ミコー薬局

漢方薬・温灸・レオピン・リスプラ
ン化粧品販売。
地域住民の健康を守る漢方養生
セミナーの開催

粕屋郡志免町志免 3-1-6
TEL 092-935-3960

後継者 こたか ゆうこ 古高 優子 **かすや支部**

2011年6月に同友会に入ったきっかけは、一柳の納富さんの発表をかすや定例会で拝聴したことでした。経営指針書作成の重要性、それを従業員さんとシェアしていくことで、自分自身が楽になり、従業員さんが自立して、理念に従って実行していることに感動しました。

また、新入会員フォローアップセミナーでは、中山代表理事より、わかりやすく同友会の歴史と3つの目的ができた経緯をお話いただきました。その中でもよい経営者になろうという項目が、自らの能力の向上なくして発展・繁栄はない!という強い思いの基に作られた目的であることに、共感・感銘を受けました。私は後継者として、学ぶべきことがたくさんあります。これから、同友会で諸先輩方の知恵、工夫、一隅を照らす情熱をしっかり学ばせていただきたいと思います。

どうぞよろしくお願い致します。

■田上 恭由氏 株式会社ワイコム・パブリッシングシステムズ
代表取締役社長（福博支部）

世界7億5000万人が利用しているコミュニケーションツールFacebook(フェイスブック)。日本でも関心が急激に高まり、半年でユーザーが倍増。登録者数も8月現在440万人となりました。今回の例会は、まだフェイスブックをやっていない方、初心者や利用しているがよくわからないという方向けにやさしく解説。ビジネスや同友会活動を補完・増進するツールの魅力をお知らせします。

17 日 14:00—16:30 新会員
フォローアップセミナー

■同友会会議室 福岡市博多区吉塚本町 9-15
新会員向けの同友会活動をわかりやすく説明する導入セミナーです。

17 日 9:30—18:00 経営指針作成
「あすなる塾」

■中小企業振興センタービル 501 会議室
福岡市博多区吉塚本町 9-15 ☎092-622-6230
『あすなる塾』は同友会における経営指針の基礎知識を学習する1日セミナーです。

20 日 18:30—21:00 博多支部9月例会

好きだから 文具屋だけでは終われない
～生き残りをかけた商品開発と私の挑戦～

■天神ビル1 1F 9号会議室
福岡市中央区天神 2-12-1 ☎0120-323-920
■井上 峰春氏 不二屋事務用品 代表者
良いアイデアが閃いても、結局何もやらすじまいの経営者の方も多いかと思います。また、取り組んだまではないものの、越えるハードルが高く、途中であきらめることも多いのではないのでしょうか。今回の例会では成功例だけでなく、商品開発の中で具体的につまづいたところも報告していただき、そこからどう取り組んだのか、何を考えるのが大切なかを学びます。その中で自社の中で温めていたアイデアを実現する意欲を促し、一歩踏み出すきっかけになることが目的です。

20 日 18:30—21:00 北九州支部・ひびき支部
9月合同例会

『同友会会員間での経済交流のきっかけづくり』
～あの会社、何をしてる会社かな?～ (ビジネスチャンスは同友会から)

■八幡ロイヤルホテル 北九州市八幡東区枝光 1-1-1 ☎093-662-1020
■企業展示

21 日 17:50—21:00 東支部9月例会

自社の強みを活かす経営革新!!
～情熱経営を支える出逢いと学び～

■ウィズザスタイル
福岡市博多区博多駅南 1-9-18 ☎092-433-3900
■松尾 憲親氏 株式会社大建 代表取締役（東支部）
今ここに熱い男が帰ってきました!! 入社2年目で社長就任、社員とのわだかまりから脱出後、ボス猿へ!! 社長歴13年目の進化したボス猿がストロングマネジメントを「熱く、熱く」語る情熱経営のすべて! まさに人生は猿芝居? お楽しみください!!

21 日 18:30—21:00 南支部9月例会

35年間の黒字経営を支えたもの
～20年間の同友会活動から得た社員との信頼関係～

■IP ホテル福岡 福岡市博多区中洲 5-2-18 ☎092-262-2009
■藤河 次宏氏 拓新産業株式会社 代表取締役（南支部）
社員と共に「一流の中小企業を目指して」を目標に、選ばれる会社作り为本気で取り組み、実行してこられた内容(会社が社員に対して約束する、就業規則を守る、有給休暇の積極取得、ノーマル残業などのエピソードを交え)とその効果(社員からの会社に対する信頼)から、会社を支える一員としての自覚の目覚めへの社員に対する導きを通して、35年間黒字経営を続けた経営体験を報告いただきます。不景気だからこそ、社員と価値観を統一する大切な時期です。日頃は忙しくて、社員とゆっくり心を開いて話し合う機会の無い方に是非、お聞き頂きたい内容です。

21 日 18:00—20:30 福博支部9月例会

企業理念の浸透で、変わる社員の動きと会社経営

■天神ビル11F11号会議室 福岡市中央区天神 2-12-1 ☎0120-323-920
■納富 輝子氏 有限会社一柳 取締役営業部長（福友支部）
経営指針書をどのように活用して自社に役立てていますか?作っていない方は作るとうなるのでしょうか?経営指針書を同友会で学び、(有)一柳の92年の歴史を大きく変え、「幸福シーンのお手伝い」を理念に社員一丸となり業績を向上させてきた体験を熱く語って頂きます。

21 日 17:45—21:40

久留米支部・有明支部・大牟田支部・りょうちく支部
9月合同例会(県南フォーラム)

地域に根ざした企業づくり、人づくり

■サンパヒネス 久留米市諏訪野町 2704-2 ☎0942-39-5321
■川口 護氏 株式会社デイ・リンク 代表取締役(広島同友会 代表理事)
川口氏は、大手ショッピングセンターなどの進出により地域からスーパーの撤退が相次ぐ昨今、社会の変化の中でも地域や従業員に対する経営者の責任を果たし、地域に根ざした企業づくり・人づくりを進めています。広島同友会での共同求人活動にも積極的に参加し、地域の人々が地域で活躍できる「地域密着型経営」を実践する川口氏の報告から学びます。

21 日 18:30—21:00 筑豊地区
「同友会を知る会」

私と同友会

■のがみプレジデントホテル
飯塚市新立岩 12-37 ☎0948-22-3840
【パネリスト】・須堯 正彦氏 ((株)液化ガス 代表取締役)
・安藤 久代氏 (餃子屋(名) 後継者)
・牟田 淳一氏 (牟田鉄工(有) 代表取締役)

22 日 18:30—21:00 筑紫支部9月例会

ベテラン弁護士が考える「人を活かす経営」とは

■筑紫野市生涯学習センター
筑紫野市二日市南 1丁目 9-3 ☎092-918-3535
■浦田 秀徳氏 ちくし法律事務所 弁護士(ちくし支部)
1986年から25年間、弁護士業に従事。裁判所のない地域に法律事務所をかまえ、市民や中小企業経営の相談・依頼を受けるとともに、ハンセン病訴訟、薬害肝炎訴訟を指導。現在、弁護士8人、事務局11人の共同事務所。同友会歴20年の前半は年3回程度出席会員だったが、中盤、県の共有委員会で、人を活かす経営の重要性を学ぶ。こうして学んだことを、①ちくし法律事務所を経営するなかで活かしている点、②一般事件で経験した点、③大規模集団訴訟で経験した点を報告。

22 日 19:00—21:00 青年支部9月例会

緊急事態を生き抜き企業が存続するために
～災害からあなたは会社を守れますか?～

■NBS 4F 会議室 福岡市博多区奈央屋町 5-10
今回の例会では、初期被害についての対応策や過去の西方沖地震での被害状況を振りかえり、いろんな業種や視点からシミュレーションを行うことによって、自社だけでは見逃しがちな有効な防災対策を持ち帰っていただけたと思います。何かとご多忙かと思いますが、ふるって多数の参加よろしくお願い致します。緊急事態を生き抜き企業が存続するために近年相次ぐ自然災害は私たちの生活を脅かすだけでなく、企業の実存も脅かします。日頃から防災意識を持って行動しておけば被害を最小限に食い止めることができるかもしれません。

23 日 14:00—24 日 11:30 玄海支部9月例会

エッ! アツ! という時の対応
～イザという時にあなたは、何ができますか?～

■流響の里オートキャンプ場
佐賀県唐津市七山池原 ☎0955-73-7418
■ロープワーク・テント張り・火起こし体験

27 日 18:30—21:00 企業連携推進委員会
FAST9月例会

■福岡県中小企業振興センター (予定)

7 水 16:00~18:00

NPO交流・ソーシャル
ビジネス特別委員会
第3回委員会

■同友会会議室

■重松 典子氏 福岡県新社会推進部社会活動推進課 課長

■NPOと企業、行政の協働について

行政がNPOと企業との協働をどんなふうにするか、その施策を具体的に聴きます。

7 水 18:30~21:00

女性部委員会
特別例会 (参加費:1,000円)

■都久志会館 福岡市中央区天神4-8-10 ☎092-741-3335

■辰巳 渚氏 一般社団法人家事塾および株式会社家事塾 代表

■生活者の視点は新たなビジネスのヒント~「家事塾」の経験から~

9月の勉強会は、『捨てる!技術』ほか多数の著書でもおなじみの辰巳 渚氏をお招きし、特別例会を開催する運びとなりました。働く個人として、一人の生活者として、また一男一女の母として、物質的に豊かな現代において豊かに楽しく生きる生活哲学と具体的な行動を提案しつつ渚氏は、その実践の場として家事塾を主宰。各種講座や、暮らしの専門家「家事セラピスト」の養成などを積極的に行っておられます。このたびの例会は、『捨てる!』から始まり生活様式、生き方の原点を今一度考えるきっかけとなるのではないのでしょうか。

8 木 18:00~21:00

県南地区
グループ長研修会

■サンライフ久留米 久留米市諏訪野町 2363-9 ☎0942-33-4425

■中村 美賀子氏 (福友支部) / 岡田 義広氏 (久留米支部)

例会では、グループ討論で大いに深めていくことが大事な要素となります。如何にすれば、学び多いグループ討論ができるか、そこでグループ長の役割は大きく影響するものです。そこで、グループ長の役割をみなさんと確認し、深められるグループ討論ができるように、研修会を開催します。

9 金 18:30~21:00

女性部委員会
経営革新チャレンジセミナー第2回勉強会

■同友会会議室

■武末 好博氏 財団法人福岡県中小企業センター・経営支援グループゼネラルマネージャー

勉強会はグループワークを中心に、意見交換を行いながらお互いにアイデアを出し合います。

今回のテーマは、「新規ビジネスの着眼(会社の展望、課題点などから新規ビジネスの模索)」です。

9 金 18:30~21:00

経営労働委員会
第2回勉強会

サービス残業をなくすには

■天神パークビル会議室

■新内 一秋氏 株式会社筑紫工業 代表取締役 (南支部)

社員には、「仕事を通じて豊かになってもらいたい」「出来るだけ待遇を良くしたい」と考えていた新内氏。しかし、一方で、業績が良くなければ昇給は出来ません。そして、ある出来事でふと振り返った、給与が置き去りになっていました。このとき、新内氏は、社員は給与のみで生計をたて、生活していることを改めて認識しました。経営者ならだれもが悩んでいる「賃金問題」について、グループ討論を通じて悩みを共有し、各社の課題を本音で語り合うことで、学びを深め、自社に持ち帰り、全社一丸の企業づくりにむけて取り組んでいきましょう。

14 水 18:30~21:00

福友支部9月例会

走り続ける25歳ベンチャー社長の決断!

~今自分がすべき「社長の仕事」とは~

■都久志会館 福岡市中央区天神 4-8-10 ☎092-741-3335

■中島 一明氏 株式会社ディーノシステム 代表取締役 (福友支部)

「社長の本当の仕事」とは一体何でしょうか?経営者はいかに環境が厳しくとも、時代の変化に対応して経営を維持し発展させる責任がありますが、会社を設立し社員を雇用しても、いつまでも社長が中心となって実務を行い目の前の忙しさに追われている、会社は社長の走る範囲から大きくならず、経営はなかなか発展しません。それを打開するためには、何が社長のすべき仕事なのか、何が社員の仕事なのか、まずは社員と共に目標をはっきりさせ、社長は「社長の仕事」の実践に全力を注ぐ必要があります。

14 水 18:30~21:30

同友すばる特別委員会
特別例会

シニア青春の主張「限りある人生をどう生きる」

~会歴40年の熱き想いを、今一度~

■福岡県中小企業振興センター 202会議室

■諸岡 昭三郎氏 KOHO 株式会社 取締役会長 (ひびき支部)

■第1部「講演会」 第2部「懇親大交流会」

15 木 18:30~21:00

嘉飯支部9月例会

指針書で会社は変えられる。社員は変わる、

~今やらないで、何時やるの!~

■バドゥ・ル・コトキ 飯塚市片島 1-7-62 ☎0948-22-5138

■赤松 勝治氏 (筑豊支部)、廣岡 正義氏 (嘉飯支部)

以前例会で指針書作成報告をもらった赤松さんには、今年9月で3期目になる指針書をどのように会社に浸透させ、会社にどのような変化があったのかを報告して頂きます。廣岡さんには、あすなろ塾・経営指針作成セミナーを経て、これから経営指針書をどのように浸透させていくのか?今後の展望を話して頂きます。

15 木 18:30~21:00

中央支部9月例会

脱「下請」!「解体屋」が魅せる∞の拡がり!!

~連携ビジネスの構築、コアになる業者・リーダーとは?~

■天神ビル11F 9号会議室

福岡市中央区天神 2-12-1 ☎0120-323-920

■恩田 昭美氏 (株式会社豊解体工業 取締役部長 (中央支部))

解体業の後継者として柳川に戻るも、解体業の実状を見てガクゼン!

さらに、完全下請の状態のままでは私も社員も未来がない。じゃどうする? 一念発起で今までの解体屋を解体し新しい生業を構築する。危機感と異業・女性の視点・感覚で業務改革・人材育成・下請体質からの脱却・連携ビジネスの構築と目を見張る行動力で邁進する報告者 恩田氏。その恩田氏がしゃべりまくる、連携ビジネスへの新たな取り組みは見逃せない!

15 木 18:30~21:00

西支部9月例会

ホントの国際化ってどうすればいいの?

■天神ビル 11F 会議室

福岡市中央区天神 2-12-1 ☎0120-323-920

■クリス・フリン氏 九州情報大学 教授

国際都市を目指す福岡で、いまや外国人との共存はさけては通れません。各業界におきましても同様だと思いますし、特にサービス業ではいち早くビジネスチャンスとしてとらえている会社もあるようです。尚、単に福岡の国際化と云っても2つの要素があり、一つは外国人が福岡を訪ねてきて外貨を落としてくれる「観光」と、もう一つは福岡で働く若しくは働く目的で勉強をするために「住む(生活をする)」という要素です。今回は、後者の働いている若しくは働こうとしている外国人にとって、日本や福岡の働く環境の現状を確認するとともに、真の国際化を行なうにはどのような環境を整えなくてはならないか考えて行きたいと思います。

16 金 18:30~21:00

筑豊支部9月例会

殻を破る経営

■ユメニティのおがた 直方市山部 364-4 ☎0949-25-1007

■山口 明子氏 ASAP 動物病院 副院長 (筑豊支部)

時代や状況に合わせて変化していく事が、山口さんの動物病院のコアコンピタンスです。つまり自分や業界が勝手に作り上げた「殻を破り続ける」ことが重要だと語り、現在では「同業者からも必要とされる動物病院」との不動の地位を確立しています。今回の報告では、皆さんの会社の「コアコンピタンスとは何か?」ということ、山口さんの報告とグループディスカッションを通して学んでいきます。※コアコンピタンスとは…競合他社を圧倒的に上まわるレベルの能力「競合他社に真似できない核となる能力」

16 金 18:30~21:00

かすや支部9月例会

フェイスブックをやってみよう

■粕屋町商工会館会議室

粕屋郡粕屋町若宮 2-3-1 ☎092-938-2456

新商品ご紹介

福友支部・米満が5冊目の書籍を出版！

「不景気でも儲かり続ける店が していること」



株式会社 ザッツ

代表取締役 米満 和彦
よねみつ かずひこ
福友支部

商売に恋愛の方程式を
応用してみませんか

過去の「恋愛」の場面を思い出してください。大好きな異性に対して、あなたは何をしましたか？もう一度会いたいから連絡先を聞いたでしょうか。自分のことを深く知ってもらいたいから、仕事や私生活、夢について何度も熱く語ったことでしょうか。さらに、相手に「喜び」を与えるために、サプライズ企画を考えたり…。

今、時代は「不景気」と呼ばれています。でも、そんな時代でも繁盛し続けている店があります。彼らは一体何をして

れる」と思っている人が少なくないのです。

販促の3段階必勝法

そこで私は、成功経営者が実施している「販促の3段階必勝法」をわかりやすく説明するために、今年の5月、5冊目となる『不景気でも儲かり続ける店がしていること』を出版しました。「リピート客の優位性」「必然的にお客様と仲良くなる方法」「最も効果的な定期接触ツール・ニュースレター」「お客様に小さな感動を与え続けるポストカード販促」などについて、具体例を交えながら書き記しています。おかげさまで発売以来、好調な売れ行きを示し、早くも二度の増刷やTBSラジオへの出演なども実現しました。同友会においても、広報・情報室の勉強会やブロック会において、同様の講義をさせていただきます。盛りとなりました。

タイトルには「店」が付いていますが、企業経営においてもこ

の基本原則は変わりません。不景気の今だからこそ、私たち中小企業の活躍が求められています。中小企業最大の武器である「人・情熱」を打ち出して、勝ち抜いていきましょう！



「ポストカード専門店」
<http://www.clipy.jp>

「ニュースレター・サービス」
<http://www.newsletter.jp>



- 書籍『不景気でも儲かり続ける店がしていること』は、全国の主要書店・アマゾンにてお買い求めください。
- 米満和彦著 同文館出版 1,470円(税込)
- ※その他の著書:「0円販促を成功させる5つの法則」「売れる&儲かる! ニュースレター販促術」など

株式会社 ザッツ

福岡市博多区山王 1-11-35 スクラム 5
TEL 092-411-3758

2011年度 第4回理事会報告

■日時：2011年8月10日(水) 15:00～18:00
■出席：33名(欠席委任1名) 出席率：97.1%

■会場：福岡県中小企業家同友会会議室
■議長：樋口副代表理事

□開会あいさつ(中村代表理事)

この間の世界経済の混乱は、非常に危機的な局面に移行する内容を含んでいます。まずは企業と社員を守るために資金を確保するとともに、流動的な情勢は情報が鍵です。中小企業は情報が入りにくい立場です。周りの経営者に積極的に声をかけ、一人で悩まず情報交換のために同友会に誘いましょう。

●福岡県新社会推進部社会活動推進課「NPO・ボランティアと企業、行政の協働について」

重松課長よりNPO・ボランティアと企業、行政の協働について説明をいただきました。また、同友会の「NPO交流・ソーシャルビジネス特別委員会」の第3回勉強会でも重松課長に報告いただくことが紹介されました。

●自社の業況と経営のとりくみ

前回から理事の各会社より報告をする事とし、今回は(有)フルガードの植原正明さん(経営労働委員長)より、発表いただきました。

■審議事項

1. ブロック会について

・ブロック会の位置づけと活動について、提案通り承認されました。前回提案の中で、ブロック会開催1ヶ月前の役員会に計画提出としていたものについては、事前に支部役員との了解を得て開催することとし、前回報告書の中に、次回予定を記入する事で事前確認できるよう書式を統一する事になりました。

・また、この内容にもとづくブロック会については、一人500円の参加費補助の用途は問わないことも確認されました。

2. 除籍審議

・1名の除籍を承認しました。

■協議事項

1. 会員増強推進について

・全国会員数および福岡同友会会員数の確認、および退会申し出者について報告。会員数が1988名と2000名をきり、全国でも

6番目の会勢になった。危機感をもった増強のとりくみが必要ではないかと提起がありました。

・提起を受けて、会員増強推進について討議が行われました。まず前回理事会での討議のすすめかたについて少し強引なところがあつたのではないかと反省も述べられ、率直に意見を出し合う事が呼びかけられました。

・全体的にすべての活動を増強につなげていく方針にもとづき、委員会行事でも可能なものにはゲストを積極的に誘い、対象者を入会までつなげるしくみをつくる必要がある。

・経営革新支援法認定企業および子育て応援宣言企業に入会推進する。

・会員増強に関する意見、提案を8月31日までに全理事が提出することを確認しました。(今回の発言をまとめたものと併せて提出用の書式を作成し発信する)

・理事全員が一枚岩になってリーダーシップを発揮しようと提起がなされました。

2. 総会のありかたについて

- ①方針を2年に1回にすること、
- ②総会プロジェクトを設置すること、
- ③採決のとり方について検討し、細則等の見直しの必要性、
が提起され、その上で、総会のあり方を見直すとともに細則改定の必要性を記述した文書をもとにさらに地区、支部で討議を深め、総会プロジェクトの位置づけも含めて正副で討議していく事としました。

3. 半期総括および予算検証の進め方について

・ビジョン実現のプロセスにもとづく今年度の方針の検証項目と検証組織が提案、確認されました。
・半期総括と予算検証のスケジュールが提起され、確認されました。

4. 本部・室・委員会活動に関する課題検討

- ①日本経済ビジョン学習会
- ②第1四半期財務報告
- ③室・委員会のとりくみ

- ・第16期役員研修大学開催報告および第17期役員研修大学について
- ・第23回経営者フォーラムについての報告
- ・NPO交流・ソーシャルビジネス特別委員会
- ・同友すばる特別委員会
- ・国際交流委員会
- ・総務財政室(同友名鑑 広告申し込み)

5. 全国行事・活動への参加要請

- ①第2回経営労働問題全国交流会
(8月25日～26日/北九州)
参加呼びかけを
- ②組織問題交流会
(8月23日～24日/東京)
- ③青年経営者全国交流会
(9月15日～16日/富山)

■報告事項

1. 前回理事会(7月13日)以降の活動報告

- ①福岡同友会の活動
- ②対外的な活動

2. 受託事業の進捗状況

- ①新卒応援プロジェクト
- ②70歳まで働ける企業創出事業の進捗状況

3. 共催、後援等

- ①障害者チャリティゴルフ大会案内と後援依頼
- ②あすばる「女性起業家支援セミナー」共催と相談コーナーへの協力

4. 行政・外部機関等より要請、申し入れ事項

- ①福岡県/がんばろう中小企業プロジェクトの周知依頼
- ②新生活産業くらぶFUKUOKA会員募集

5. 事務局関係報告

8月1日入局の井上 悠事務局員を紹介

6. 同友会活動報道および会員企業のうごき等

2011年7月 経営革新支援法認定企業3社の報告。

親切・丁寧

 TAHIRA.SR
 社会保険労務士 **多比良 修**
多比良修労務管理事務所
 〒810-0073 福岡市中央区舞鶴2丁目4-26 イメイブル・ド・舞鶴603号
 Tel 092-791-7894 Fax 092-791-7895 携帯 090-1513-2608
 e-mail: sr-tahira.office@soleil.ocn.ne.jp
 URL <http://www.rodou-houmu.com/>

採用から退職まで・・・

 社会保険・労働保険・給与計算のアウトソーシング
 賞金・退職金・労務管理コンサルタント
 就業規則作成 社員教育研修
池田社会保険労務士事務所 福岡市中央区天神4-5-10-214
 特定社会保険労務士 **池田 宏子** Tel 092-737-7622
<http://www.ikedaooffice.com>

有限会社 日研
 代表取締役 **末竹 哲**
 ウィントングループの住宅
 ダクトクリーニングサービス
 「WintVent」はお部屋の空気を
 改善します
 〒811-1311 福岡市南区横手1-12-1
TEL 092-572-5826 FAX 092-572-5915
 URL <http://homepage3.nifty.com/nikkenfukuoka/index.html>
 e-mail nk.suetake@nifty.com
 長年の使用により換気設備は
 こんに汚れています!!

マンションのリニューアル計画はありませんか?
SystemPlan 有限会社 システムプラン
 マンションのリニューアル計画なら九州 No.1 の実績を誇るシステムプランへ...新築後 25 年以上の建物は設備の改修次期が来ています。放っておくと漏水や断水等で大きな被害を被ることがあります。早めの長期計画を組んでおきましょう。
 代表取締役 **森 良一**
 〒810-0004 福岡市中央区渡辺通 4-2-25
 TEL : 092-751-0036 FAX : 092-715-0061
 URL <http://sys-plan.jp> E-mail system@jmxs.ftbb.net

ALHOT PLANNING 経営サポート & コンサルティング
 HAPPY THINKING
 代表取締役 **堤 八恵子**
 Yaeko Tsutsumi
 技術士(総合技術監理部門/建設部門)
株式会社 あるほっとプランニング
 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2丁目12番26号福岡Dビル2階
 TEL 092-482-0808 FAX 092-482-0888
 E-mail tsutsumi@udc-ap.co.jp
 *幸せ思考*で夢に挑戦-A・U・Hドリチャングループ

UKIHA 株式会社 浮羽工務店
 代表取締役 社長 **石井 敏彦**
 〒815-0063 福岡市南区柳河内1丁目2番12号
TEL 092-511-3121 FAX 092-553-5905
 URL <http://www.fukunet.or.jp/member/ukiha/>
 E-mail: ukiha-ko@abelia.ocn.ne.jp

KENSYU 福岡県知事免許 (I) 第16451号
 福岡県知事許可(般-19)第9041号
建秀ブロック株式会社
 (日本工業規格表示認定工場)
 代表取締役社長 **宗 隆文**
 (宅地建物取引主任者)
 〒819-1105 福岡県糸島市潤2丁目5番25号
TEL (092)-322-3502 FAX (092)-322-3114
 携帯 090-3735-3729
 E-mail: kenshu.cb@pure.ocn.ne.jp

高含有フコキサンチン フコイダン専門店
日本がん研究所 株式会社 <http://www.shopfucoidan.com>
 代表取締役 **掛江 一也**
 Kakee kazuya
 〒810-0034 福岡県福岡市中央区笹丘1-23-2 友泉中央ビル2F
 Tel 092-739-2320 Fax 092-739-2771
 大連オフィス:新生活創造(科技)有限公司
 中国 遼寧省大連市中山区人民路9号1216室
 香港オフィス:生活創造有限公司
 香港 九龍觀塘鴻圖道57號南洋廣場 6樓605號
 ☑ E-mail : iamakkee@shopfucoidan.com

Beauty News
 夏のくたびれ顔に!
**低周波の顔筋トレで
 すっきり引き上げを!**
 夏のくたびれ顔に! 顔もヘトヘトになり、その筋肉の流れに沿ってグッと引き上げていきます。2種類の低周波で顔の表面から深部まで、筋肉を鍛え、引き締め、くびれをなく、まぶたに、筋トレの感覚、顔筋への刺激により、顔の血流やリンパの流れもよくなり、肌の透明感もアップします。術後も引き上げ効果が持続し、すっきり小顔に! フットケアやリハパマッサー、ジツキなどで夏バテで疲れたカラダも癒やせています。
 中野さん(40歳)の場合
 ほろよいせんが潤え、フェイスラインもスッキリ!
 低木くん(40歳)の場合
 3つのポイント
 ①術後、すぐに引き上げ効果を実感
 ②引き上げ効果の持続(個人差あり)
 ③血流改善により、肌の透明感もUP!
 限定20名様 10/23(日)10日まで
 引き上げ美顔術体験コース70分
 通常価格! 1,500円税 体験価格 3,800円

Stella Grande
 ステラ・グランデ since 1986
 初めてのお客様へ
 体験コース
 ひきあげ美顔術
 ブライダルエステ
 ボディエステ
 フェイスエステ

福岡県中小企業家同友会 広報情報室 「月刊 同友」編集部
 〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号
 福岡県中小企業振興センタービル11F TEL 092-686-1234 FAX 092-686-1230

<http://www.fukuoka.doyu.jp/>
 福岡同友会 検索